

回復期リハビリテーション向け支援システム

1、概要

東京湾岸リハビリテーション病院では、医師、セラピスト、看護師、検査技師、薬剤師、医事課、MSW、事務 が行う業務作業をコンピュータで管理し、情報の相互利用を行い業務の効率化を目指したシステムとなっています。

東京湾岸リハビリテーション病院が理想とする機能（要望）の改良を重ねながら構築。

2、導入効果

病院の要望を、そのまま実現したので、効果は病院に聞くと詳細がわかると思います。

1) リハビリの予約、実績作業の効率的

- ・入浴の予定、PT,OT,ST の予定を重複しないで行うことができる。
- ・セラピストの勤務表と連携した予約、実績
- ・日報、月報を短時間でだせるようになった。

2) 書類作成の効率化

- ・日々の書類作成の効率化（前回の書類の流用、入力 of 簡便化）
- ・サマリー作成では、全ての書類から必要な情報を取得できるので、時間短縮となる。
（必要な情報はパラメータをメンテ画面で設定することで対応）
- ・新規書類作成、書類の項目変更、印刷書式変更に対して、容易に対応できるシステム設計となっているので、業務に必要な書類への対応が早くできる。
（印刷書式は EXCEL で対応できるので、病院で使用している EXCEL での書類を利用できる）
- ・研究用データを収集できる。（サマリー作成時 有効活用できる。）

3、システム導入を行う体制

1) 病院内でのプロジェクト体制を構築

- ・何をおこないたいかを明確にしていく。（スタッフ間のコンセンサスをとっていく）
- ・東京湾岸リハビリテーション病院で導入したシステムを理解
（東京湾岸リハビリテーション病院のノウハウが集約されている）

4、システムの対応

システムは、プロジェクト体制ができた東京湾岸リハビリテーション病院のシステムを基本とし、導入される病院の要望を組み込んでいきます。

以上

システム導入の準備作業（見積もり条件確認）

1、ハードウェア

- ・現在あるシステム（サーバ、端末、ネットワーク）
- ・新規導入する端末台数（設置場所）
- ・新規導入するサーバ（SQL サーバ）
- ・病院のネットワークを導入・管理している会社
- ・リモートメンテナンスできる環境構築

2、ソフトウェア

A、書類

- ・東京湾岸リハビリテーション病院で使用している書類を、そのまま利用できるか。
- ・導入を予定される病院独自の書類（他施設との連携）
- ・書類の印刷書式を EXCEL で提供してもらえるか。

（EXCEL でないと、印刷フォームを Fix するのに時間を要します；湾岸での反省より）

B、予約方式

- ・東京湾岸リハビリテーション病院で行っている予約方式を採用
（勤務表作成、入浴の予約、セラピストの予約）

3、医事システムとの連携

- ・メーカー、システム
（患者属性を取得、実績（単位）を送信）

4、検収と保守について

このシステムは、業務を支援するシステムであるので、業務のやり方、書類の追加・修正が常にあります。よって システムとして完成することはなく、常に改良をしていくこととなります。

- ・検収は予約・実績、医事との連携ができた時点。（不具合は残る可能性があります）
（書類は、スタッフ全員が評価し、要望を決定することは、短期間では無理）
（ハードウェア、ネットワーク工事は納入した時点で検収となります。）

- ・保守はシステムの不具合、改良に対応していくものです。

（書類の完成度を上げていく作業、日報・月報の統計資料の完成度を上げていく作業となります。）

別途 保守契約（ハードウェアとソフトウェアは別々）を行う必要があります。

以上